

平成14年11月21日

報道機関 各位

広島大学総務部大学情報室長
西田良一広島高等師範学校設立100年記念事業の
実施について

広島大学教育学部・教育学研究科の前身校の一つである広島高等師範学校が開学した1902(明治35)年から数えて、今年はちょうど100年目の年に当たります。これを記念して、下記日時、場所において[別紙のとおり](#)記念事業を実施いたしますので、お知らせいたします。

記

日時 平成14年12月1日(日)午後2時～午後7時30分
場所 広島大学(中央図書館ライブラリーホール及び学生会館)

【お問い合わせ先】

広島大学教育学部事務長補佐 荻野照峰
TEL:(0824)24-6702

[発信枚数;A4版 3枚(本票含む)]

広島高等師範学校設立100年記念事業実施要領

広島大学大学院教育学研究科記念事業実施委員会
委員長 中原 忠男(教育学研究科長)

1 趣旨

広島大学教育学部・教育学研究科の前身校の一つである広島高等師範学校が開校した1902(明治35)年から数えて、今年ちょうど100年目の年に当たる。当時と現代では、教育界の状況はすでに大きく異っているし、さらにめまぐるしく変化しつつある。歴史を振り返るゆとりを持たない状況におかれているようにもみえる。

広島高等師範学校は、揺るぎない信念で教員養成に当たってきた学校である。今日から考えると、恵まれた時代、うらやむべき環境の中にあっただと言えるかもしれない。古き良き時代の教育は、懐かしむには余りにも過去のものになりすぎたかもしれない。しかしだからこそ、冷静に眺めることができるとも言える。

設立100年を機に、あらためて今の教育学研究科の教育研究で継承すべきことは何か、現代の教育・教師教育に活かすべきものは何かなど、教育学研究科の理念を踏まえ、広島高等師範学校が私たちに語りかけていることを考えてみたい。

2 主催 広島大学大学院教育学研究科

3 後援 尚志会
教育学部後援会

4 日時 平成14年12月1日(日)午後2時～7時30分

5 場所 広島大学(中央図書館ライブラリーホール及び学士会館)

6 事業

I 一部

(1) 記念基調講演

講師 比治山大学長 三好信浩

演題 「広島高師が現代に語るもの」

期日 平成14年12月1日(日)午後2時～2時50分

場所 広島大学中央図書館ライブラリーホール

(2) 記念シンポジウム

主題 「21世紀の教育と教員養成を考える ―高師が教えるもの―」

期日 平成14年12月1日(日)午後3時～5時

場所 広島大学中央図書館ライブラリーホール

提言者

● 牟田泰三(広島大学長) 広島大学が継承すべきことは

(概要) 広島高師の伝統を引き継ぎながら、広島大学の理念と目標に照らして教育学研究科に期待すること、教育学研究科が大切にすることについてご提言いただく。

●船寄俊雄(神戸大学教授) 教員養成校における「学力」とカリキュラム

(概要) 教員養成校ではどのような「学力」観に基づいて、教育が行われていたのか。教員養成校のカリキュラムの特質と、それによって培われた「学力」とはどのようなものだったのか。

●山田浩之(広島大学助教授) 人材の輩出と教育実践力育成の検証

(概要) 教員養成校出身者は優れた教育実践を行ったといえるか。また、彼らの教育実践は養成校の教育とどのように関係していたか。出身者の教育実践は、どのように評価されたのか。

●寺田芳徳(高師S.26年卒、比治山大学名誉教授) 高師の教え

(概要) 当時の高師ではどのような教育が行われていたのか。高師の教えを思い出として語っていただく。

コーディネーター(司会)

●高橋 超(広島大学教授)

●大林正昭(広島大学助教授)

II 二部

(1) 記念式典

期日 平成14年12月1日(日)午後5時30分～5時50分

場所 広島大学 学士会館(2階レセプションルーム)

(2) 記念祝賀会

期日 平成14年12月1日(日)午後6時～7時30分

場所 広島大学 学士会館(2階レセプションルーム)

問い合わせ先
広島大学教育学部事務部
電話:0824-24-6702
FAX:0824-22-7171